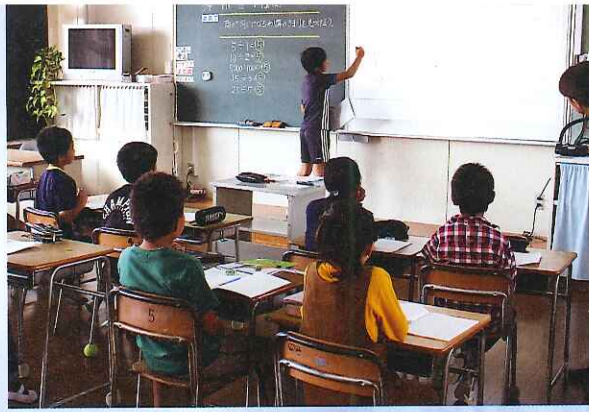


## 町の未来を担う

### 教育の充実



#### 全国学力・学習状況調査結果

##### ■ 小学校の平均正答率 (%)

教科	国語A	国語B	算数A	算数B
筑前町	73.0	56.0	78.0	42.0
福岡県	76.0	58.0	79.0	46.0
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

##### ■ 中学校の平均正答率 (%)

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
筑前町	77.0	72.0	68.0	47.0
福岡県	77.0	71.0	63.0	46.0
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

毎年、小学6年生と中学3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われています。この調査結果は児童生徒の学力や学習状況を分析し、教育施策の成果と課題を検証するものです。

教科に関する調査の出題内容は、実生活において不可欠であり、常に活用できるようなっていることが望ま

しい「知識(A)」などに関するものと、その知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力をみる「活用(B)」に関するものとなっています。

町の結果を見ると、中学校では、数学Aが全国平均正答率を上回り、国語B、数学A、数学Bが県平均正答率を上回っています。過去数年間で見ると小学校では昨年度に比べ下降しており、中学校では全体的に上昇傾向にあります。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査は、児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関するものとなって

います。

町の結果から、①自分の考えを書いたり説明したりすること、②ものごとを最後までやり遂げた時に得られる達成感や達成感、③自分にはよいところがあるといった自尊心に課題が見られます。

今後の取り組みは、①調査結果・分析を学校全体で共有し、共通実践をすること、②自分の考えを書き、説明する活動を重視した授業をすること、③達成感や達成感、自尊感情を育む教育活動を充実することです。これらを学校全体、教職員間で確認し、保護者・地域と連携をしながら、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てていきます。

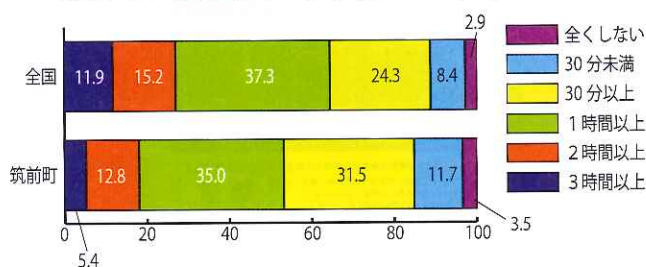
#### 今後注視したい町の課題

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査で、特に課題として捉えているものが、家庭学習の時間と携帯電話などの使用時間です。家庭学習の時間が1時間未満の児童生徒の割合が全国に比べて高く、携帯電話などの使用時間が1時間以上の児童生徒の割合も高い結果になっています。

今後も学校・家庭・地域と連携を図りながら、小・中学校で取り組んでいます「家庭学習強化週間」や「筑前町ネット4しない宣言」の推進をさらに図っていきます。



家庭での学習時間 小学校 1時間未満 46.7%



家庭での学習時間 中学校 1時間未満 42.8%

